

「実践経営マネジメント概論」の授業で伝えたかったこと

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。私は、6月17日の月曜日に、宇都宮大学大学院の地域創生科学研究科で「実践経営マネジメント概論」という授業を担当させていただきました。そこで、その授業について今週と来週の2回に分けてお話をさせていただきます。
2. 宇都宮大学は大学院の編成を行い、今までの大学院を地域創生科学研究科というようにまとめました。そのため、工学研究科、国際学科の大学院生や農学部、教育学部の学生と一緒に授業を聞くチャンスが増えているそうです。
私は長年、客員教授を拝命させていただいておりますので、その関係からでしょうか、今年も授業の依頼がありました。それが6月17日の授業で、大きなショッピングセンターの隣にある宇都宮大学工学部の一番大きな教室アカデミーホールで、150名の大学院生の皆さんを前にお話をさせていただきました。
3. それは、経営学についての「実践経営マネジメント概論」という講座で、何人かの経営者の方が交代で授業をし、そのあとに専門の先生方が補強するという形で行われています。先週は、トヨタウッドユーホームの中津社長さんが、90分の授業を2回に分けてされたということです。
4. 今週は私が、「卓越した業績を目指して」というテーマで、サービス産業のイノベーションについてお話をさせていただきました。ただ、工学部の学生の皆さんが大部分なので、私が経営する開倫塾という学習塾の話をして参考にならないのではないかと思います。以前に社外取締役をさせていただいたマニー株式会社のお話と、私が親しくさせていただいている千円カットのQBハウスのお話をさせていただきました。
5. 最初は、この講義の目的を伝えました。それは経営トップ・組織の長となるような複数の外部講師の方の講義を通して、いろいろなことを勉強しようということです。その1つは、経営に関する基礎知識です。

6. 2つ目は、経営戦略です。経営において戦略的な意思決定をする場合には、10年後、20年後を見据えて、それまでに会社をどのようにもっていこうか・必ず守りたいことは何かなどを考えることが大事です。それから、2、3年単位で、この会社をどのようにしていくか・どんな商品を作っていくかを考えることも大事です。さらに、もっと細かい話になりますが、会社では毎日いろいろなことが起こりますので、今の仕事をもっともっとよくするにはどうしたらよいかを考える必要もあります。

このように経営における戦略的な意思決定には、長期的にはどうするか・2、3年かけてどうするか・短期的にはどうするかがあると思います。短期的とは、今日はどうしよう・明日はどうしよう・来週はどうしよう・来月はどうしよう・四半期ではどうしようと考えことです。この四半期とは、1年を4つに分け、3か月単位で第1四半期、第2四半期、第3四半期、第4四半期としたものです。

7. 3つ目は、組織運営です。ものごとを進めていく場合には、1人でやる場合も自分自身をどのようにマネジメントするかが大事です。まして2人以上の組織である場合は、例えば10名でやる場合に6名分の力しか発揮できないのでは困ってしまいますので、最低でも10人分、できれば15人分の力を発揮するためには、組織としてどのような運営をしたらよいかを考えることが大事です。

組織を運営するには、自分たちが作った製品や提供するサービスをうまくお客様に買っていただくかなければなりません。これはマーケティングという難しい分野になりますが、どのようにしたらお客様がお気に召す商品やサービスの製造・提供ができるか、また、それを売ることができるかを考えることも大事です。

8. 4つ目は、国際戦略です。今後はますます日本国内だけでなく、他の国に打って出て事業をする・他の国の方々に働いていただく・ものやサービスを他の国の方々に買っていただくことなどが大事になります。

9. 5つ目は、経営における情報の役割です。具体的には、どのようなデータを基礎にしてどう分析し、仕事に生かすかということです。例えば、ものをたくさん作っているところでは、何個作ったらお金がどのくらいかかるか・どのようにしたら上手くできるか・お客様のデータをはじめ様々なデータをどのように分析するか・分析したデータをどのように処理かななどをパソコン、スマホ、タブレットなどを使って考える仕事をする方がたくさんいらっしゃると思います。その情報処理の仕方も教えてくださいということでしたので、少し話させていただきました。

10. 6月17日の授業では、このような内容のお話をいたしました。宇都宮大学の大学院生は一所懸命に勉強なさっていましたので、ぜひ皆様も一緒に考えていただければと思います。